



264号 発行所 / 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 発行責任者 / 病院長 吉野 茂文 印刷 / ㈱アートネクスト

【予防策① 感染対策の基本は手洗い！】
手には目に見えないウイルスや細菌が数多く付着しています。汚染した手で目や鼻や口などの粘膜に触れると体内にウイルスが侵入し感染症を引き起こします。帰宅時や食事の前、トイレの後

【予防策② ワクチン接種で重症化予防】
インフルエンザや新型コロナウイルス

【予防策③ 人混みではマスクを着用しましょう】
インフルエンザや新型コロナウイルスは咳やくしゃみなどのしぶき(飛沫)を吸い込むことで感染します。しぶきは1~2mの距離で飛散します。周囲へのウイルスの飛散防止、自分自身をウイルスから守るためにも、人混みではマスクを着用しましょう。マスクを着用する際は、ブリーチを付けて使用し鼻と口をしっっかり覆うことが大切です。

【予防策④ 感染対策の基本は手洗い！】
手には目に見えないウイルスや細菌が数多く付着しています。汚染した手で目や鼻や口などの粘膜に触れると体内にウイルスが侵入し感染症を引き起こします。帰宅時や食事の前、トイレの後

【予防策⑤ ワクチン接種で重症化予防】
インフルエンザや新型コロナウイルス

【予防策⑥ 人混みではマスクを着用しましょう】
インフルエンザや新型コロナウイルスは咳やくしゃみなどのしぶき(飛沫)を吸い込むことで感染します。しぶきは1~2mの距離で飛散します。周囲へのウイルスの飛散防止、自分自身をウイルスから守るためにも、人混みではマスクを着用しましょう。マスクを着用する際は、ブリーチを付けて使用し鼻と口をしっっかり覆うことが大切です。



※・心臓、腎臓、又は呼吸器の機能に障害があり、日常生活が極度に制限される方・ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

関門医療センター



冬の感染症予防対策について

寒さの厳しい季節がやってきました。気温が低下し空気が乾燥するこの時期は、ウイルスにとって過ごしやすく、乾燥した空気中にはウイルスが多く浮遊しています。また人の鼻やのどの粘膜の働きが弱くなり免疫が低下することなどから、感染症が流行しやすい季節といわれています。インフルエンザやノロウイルス、ロタウイルスによる感染性腸炎は冬の感染症として注意が必要です。また近年では新型コロナウイルス流行し、さらに今年はマイコプラズマ肺炎も流行しており、より一層感染対策に注意が必要です。

【予防策⑦ 人混みではマスクを着用しましょう】
インフルエンザや新型コロナウイルスは咳やくしゃみなどのしぶき(飛沫)を吸い込むことで感染します。しぶきは1~2mの距離で飛散します。周囲へのウイルスの飛散防止、自分自身をウイルスから守るためにも、人混みではマスクを着用しましょう。マスクを着用する際は、ブリーチを付けて使用し鼻と口をしっっかり覆うことが大切です。

ウイルス感染症はワクチン接種により重症化予防が期待されます。新型コロナウイルスは、令和6年3月で自己負担なしの特例臨時接種は終了しましたが、65歳以上の高齢者(一定の基礎疾患※がある場合は60歳~64歳)であれば定期接種として自己負担を減額して接種することができます。接種方法

や実施医療機関は下関市のホームページに紹介されていますので、ご参照ください。これから本格的な冬が訪れますが、適切な感染対策を行うことで細菌やウイルスから身を守り、流行シーズンに健康に乗り越えましょう。



感染管理認定看護師 三村 由佳

外来診療担当医一覧表

2024年12月1日

Table with columns: グループ名, 診療科名, 月, 火, 水, 木, 金, 特殊外来 ※要予約. Rows include various medical departments like 総合診療, 循環器内科, 消化器内科, etc.

〒752-8510 下関市長府外浦町1番1号 国立病院機構 関門医療センター 診療受付時間: 午前8:30~11:30 午後(各診療科外来にお問い合わせください) ※休診日:土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始(12/29~1/3)
★代表 TEL(083)241-1199 FAX(083)241-1301
★地域医療連携室(医療関係者専用) TEL(083)241-1191(2561) FAX(083)241-1302
★透析センター FAX(083)241-1308 https://kanmon.hosp.go.jp/

地域医療者のための学習会「関門フォーラム」(予定)

18:30~19:30 関門医療センター3Fホール

令和7年 1月30日(木) 呼吸リハビリテーションと医療機器の最新知見を学ぶ

理学療法士 石光 雄太

興味のある方はどなたでも参加できます。(事前申込不要)



令和6年11月に匿名で、タオルキャップの寄贈がありました。医療現場で有効活用してまいります。お心遣いに感謝申し上げます。

寄贈の御礼 タオルキャップ

令和6年度「HIV/AIDS 感染予防事業」として「世界エイズデー」のキャンペーンと外来講師を招聘しての講演会を開催しました。本年の「世界エイズデー」のキャンペーンテーマは「U=U 知る」ことから、もう一度、「例年通り令和6年12月2日に病院外壁(国道側)にてプロジェクトマッピングによるHIV/AIDS感染予防啓発キャンペーンを執り行いました。「U=U」とは、Undetectable=Untransmittableの略語で、効果的な抗HIV治療を受けて血液中のHIV量が検出限界値未満(Undetectable)のレベルに継続的に抑えられているHIV陽性者からは性行為によって他の人にHIVが感染することはない(Untransmittable)ということを表すメッセージです。HIV感染症の管理もここまで進んでおり以前の状況と比較すると隔世の感があります。



また、講演会では令和6年11月14日に国立国際医療センターエイズ治療専門外来医長の中本貴人先生を招聘し「HIVとMopox(サル痘)：基礎から臨床まで」の演題で講演を頂きました。サル痘に関しては2022年7月に国内で初めて患者が報告され2023年以降も患者の発生が続いています。HIV感染症等による免疫機能低下者に多発しており、希な疾患ではありますが注意喚起が必要と思われれます。

★6月1日～6月7日…「HIV/AIDS 検査普及週間」
★12月1日…「世界エイズデー」



HIV/AIDS 感染予防事業

令和6年度「HIV/AIDS 感染予防事業」として「世界エイズデー」のキャンペーンと外来講師を招聘しての講演会を開催しました。本年の「世界エイズデー」のキャンペーンテーマは「U=U 知る」ことから、もう一度、「例年通り令和6年12月2日に病院外壁(国道側)にてプロジェクトマッピングによるHIV/AIDS感染予防啓発キャンペーンを執り行いました。「U=U」とは、Undetectable=Untransmittableの略語で、効果的な抗HIV治療を受けて血液中のHIV量が検出限界値未満(Undetectable)のレベルに継続的に抑えられているHIV陽性者からは性行為によって他の人にHIVが感染することはない(Untransmittable)ということを表すメッセージです。HIV感染症の管理もここまで進んでおり以前の状況と比較すると隔世の感があります。



産婦人科医長 林 公一

11月7日13時30分頃、菊川断層を震源地とするM7.0の大地震が発生したと想定し、災害医療訓練を行いました。

まずは、災害本部を立ち上げ、被害の状況確認を行いながら傷病者の来院に備えます。受け入れ次第、トリアージタグで各エリアに患者さんを誘導し、適切な処置を施していく流れです。

訓練は、多少の課題点もありましたが、大きな声をかけながら、それぞれのスムーズな動きができ、大きな収穫となりました。いづどのような状況で起こるか予測できない災害時に、とっさに自分の役割を理解し、実行することができると、課題点を解消しつつ、これからも備えていきたいと思えます。

災害医療訓練



災害本部



赤エリア



トリアージエリア



緑エリア



黄エリア

DMAT 実動訓練を終えて

令和6年度中国地区DMAT実動訓練が広島県にて、令和6年11月30日～12月1日の日程で開催され、当センターのDMAT隊も訓練に参加してまいりました。皆さんDMATとは何か? DMATとはDisaster Medical Assistance Teamの略であり、「災害急性期に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム」と定義されており、医師、看護師、業務調整員(医師、看護師以外の医療職及び事務職員)で構成されています。

今回の実動訓練には、医師1名、看護師2名、調整員1名にてチームを編成しました。訓練想定内容から必要とされる資機材を準備したうえで、広島県に出発しました。広島大学病院内



マツダ病院とのミーティング



DMAT隊メンバー



院内情報収集

翌日には検証会があり、他の訓練会場(広島県庁呉圏域活動拠点本部)やドクターヘリ運用などの訓練全体の振り返りや課題の抽出なども行われました。今回の実動訓練では、大規模災害が発生した場合、迅速かつ効果的な広域災害医療体制が確保できるように、被害状況における効率的な情報収集が、現状の分析把握だけではなく、必要とされる人的・物的資源の把握として有用であり、迅速に行動できることに繋がると学びました。

災害はいつなんどき起こるか分かりません。今後起こりうる実災害に向けて災害拠点病院として機能維持・向上がはかれるよう、日々さまざまな職種で話し合い高めていきたいと考えます。



主任臨床工学技士 DMAT隊員 石田 朋行

関門医療センターDMAT隊員の紹介



当センターには9名の隊員が在籍しており、定期的な訓練を実施し、災害時の出動要請に備えています。



診療放射線技師 宮川 敬



医師 松本 泰幸



医師 千原 大典



看護師 山口 智弘



看護師 西村 俊洋



看護師 鈴木 樹里



看護師 水津 藍



看護師 田尻 教祥